

氏名	武田 美津代	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(学術)				
学歴	1984年埼玉県立短期大学第一看護学科、97年放送大学教養学部生活と福祉専攻、2001年文教大学大学院修士課程 人間科学研究科生涯学習専攻、08年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース				
経歴	1995年新潟県立看護短期大学助手、98-2002年埼玉県立衛生短期大学(埼玉県立大学短期大学部看護学科)助手、06年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、09-11年埼玉県立大学認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケアコース講師、15年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会(役職)	日本看護研究学会、日本看護技術学会、日本褥瘡学会、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、日本創傷・オストミー失禁管理学会、日本生涯教育学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	2019年度版 准看護師試験問題集	共著	医学書院;p512	青山美智代、天賀谷隆、 武田美津代 他 (解答者40名)	2018.4月
2					
3					
(2) 論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3) 学会発表					
1	訪問看護ステーションにおける既卒採用者育成の実態	共著	第49回日本看護学会学術集会-在宅看護-	林裕栄、 武田美津代 、三塩操、中島悦子、片倉美美子、藤川あや、畔上光代、水間夏子	2018.7月
2	The effect and challenge of visiting nurse training program for already graduates	共著	The5th China Japan Korea Nuursing Conference	Hiroe Hayashi, Misao Mishio, Etsuko Nakajima, Fumiko katakura, Mitsuyo Takeda , Miyuki Seki, Mitsuyo Azegami, Natsuko Mizuma, Aya Fujikawa	2018.9月
3					
(4) その他					
1	新卒者等訪問看護師育成と指導者の抱える課題に関する研究	共著	平成30年度奨励研究報告 科研コース	林裕栄、 武田美津代	2019.2月
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				
2					
3					

3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1) 講義			
1	看護過程論	2018.11～2019.2	科目担当者と技術演習が効果的になるよう事前検討を行った。学生個々のペースに合わせて学習できるように資料をまとめて配布するなど工夫した。看護過程展開の演習では、学生のペースに合わせて柔軟に時間配分を調整した。演習では担当教員も小グループを巡回して学生個々の理解が深まるように工夫した。
2	看護方法Ⅰ	2018.11～2019.2	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。看護技術の原理原則を重視し、限られた時間内に看護の基本技術を学習できるように留意した。
3	看護方法Ⅱ	2018.4～2018.7	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。看護技術の原理原則を重視し、限られた時間内に日常生活援助技術を学習できるように留意した。
4	看護方法Ⅲ	2018.4～2018.6	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。看護技術の原理原則を重視し、限られた時間内に診療治療の援助技術を学習できるように留意し、安全にも配慮した。
5	看護方法Ⅳ	2018.7月	科目責任者と協力し、技術演習が効果的になるよう事前検討を行った上で、技術演習の指導をおこなった。既習の看護方法Ⅰ～Ⅱを活用し、設定した事例に適したより良い援助方法の実践を学生が計画・実施できるようにアドバイスした。
6	感染管理	2019.1月	科目責任者と授業運営の検討を行った。臨床における感染対策が学べるようゲストスピーカーを招き、実践的な活動を知る機会を設けた。選択科目であり、感染症ごとの対策を学べるようゲームを取り入れたり、科目担当者と役割分担を明確にして学生指導を行った。
7	認定看護師教育課程 専門科目 症状マネジメントと援助技術Ⅶ	2018.12月	緩和ケアコースの受講生30名に対し、患者の倦怠感など緩和するためのマッサージ法、リラクゼーションについて講義と演習を行った。実習場面で活用しやすいハンドマッサージとフットマッサージを取り入れた。
(2) 演習			
1	該当なし		
2			
3			
(3) 実習			
1	基礎看護学実習Ⅰ	2019.2月	1年生36名を引率し、見学実習を指導した。初めての専門科目の実習であり、学生の体調管理、事故防止に努めた。
2	基礎看護学実習Ⅱ	2018.10月	2年生12名(6名×2グループ)の受け持ち実習を指導した。患者・学生の安全を確保できるように学生のケアに同行し、臨床指導者と連携して指導した。
3	総合実習	2018.7月	基礎看護学領域内の総合実習運営担当として、4年生27名の実習をサポートした。実習オリエンテーションを担当し、実習前には実習担当する教員のサポートを行い事前学習会に参加した。実習後の発表会が円滑に行えるよう企画運営を行った。次年度に向けた実習総括などの報告書を作成した。
4	ヒューマンケア体験実習	2018.9月	2施設(学生7名)を担当した。実習中は適宜施設を訪問し、学生の実習状況を把握して、学生が初めての实習に戸惑わないように指導者と連携し、情報交換した。
(4) 論文指導			
1	卒業研究	2018.4～2018.12	学生5名を担当した。
2			
3			
(5) その他			
1	看護学科 学生担任	2017.4～	2017年度入学生を教員6名で担任として指導、相談、面接などにあたっている。133名のうち22名を担当している。
2	グローバルヘルス④(山西医科大学)	2018.4～2018.11	学生9名が山西医科大学に短期留学する際に引率し、山西医科大学教員・学生と交流を図った。留学準備として学生には中国語での自己紹介を練習する機会を設定し、文化などの事前学習や学生生活紹介のバワポ作成を指導した。短期留学後には学内で学びを発表できるよう指導した。

3	山西医科大学留学生施設見学(病院実習)	2018.8月	留学生16名(山西医科大学9名、香港理工大学6名、チューリッヒアプラインサイエンス大学1名)を引率し、病院における2日間の見学実習を引率した。香港理工大学・チューリッヒアプラインサイエンス大学担当の教員と連携し、実習前の病院調整、実習中の学習サポートを行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	新卒者など訪問看護師養成プログラム	埼玉県訪問看護ステーション協会	褥瘡ケア、ストーマケアについて	2018.5月、11月
2	指圧・マッサージを看護に活かす①	埼玉県看護協会	自律神経系を安定させ、リラックスさせる指圧・マッサージの技術を学ぶ	2018.7月、9月
3	平成30年度 ナーシングマッサージ研修会	看護における指圧マッサージ研究会	ナーシングマッサージの基本理論と手技	2018.8月
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉ストーリーリハビリテーション講習会実行委員会	委員	2015.11月～現在	
2	新卒者など訪問看護師養成プログラム作成委員会	委員、ワーキング委員兼務	2016.4月～現在	
3				
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
2				
3				
5. 学内運営(委員会委員)				
1	国際交流委員会 委員			
2				
3				
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			